

# 介護福祉士の活躍の場は年々広がっています

高齢会の進展に伴い今後ますます介護の需要が増大するなか、その担い手となる介護人材の確保が大変重要となっています。しかも、介護サービスは多様化、高度化しており専門的な知識や技術が必要となり、介護の専門職「介護福祉士」は、ますます社会から求められています。大学生をはじめ、就職状況が著しく厳しい今日ですが、介護業界は活気があり将来の展望も明るい業界です。今後地域の福祉を支える貴重な人材となるべく、介護福祉士資格を取得し、あなたの将来にいかしてみませんか。

介護福祉士が活躍する職場 (一例)

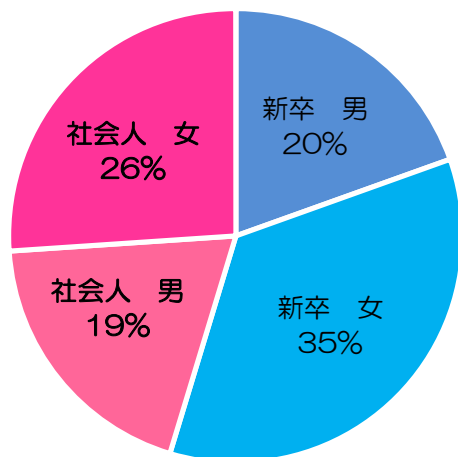
特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・デイサービスセンター・グループホーム・訪問介護事業所  
介護療養型医療施設・シルバー産業・有料老人ホーム・市区町村の役場 等

## 本校入学までの道のりは様々 本気で頑張るあなたを支えます

大学・専門学校卒業後の進路変更、大学中退、フリーター、社会人からの進学等、本校へ入学するまでの道のりは様々ですが、同じ目標に向かう全学生を分け隔てなく、就職まで親身にサポートいたします。

社会人入学時 平均年齢 32.9歳

### 入学者割合 (社会人45%)



前職は様々・・・

飲食店、警備会社、自衛隊 等

子育て中の主婦の方も、たくさん入学しています。

## 卒業生の声

河野 孝 さん 平成24年4月入学

<社会人経験> 20年 <職歴> 金融業・不動産業

私は高校卒業後、金融業と不動産業で20年近く働いていました。支店長として働いていた時もありました。

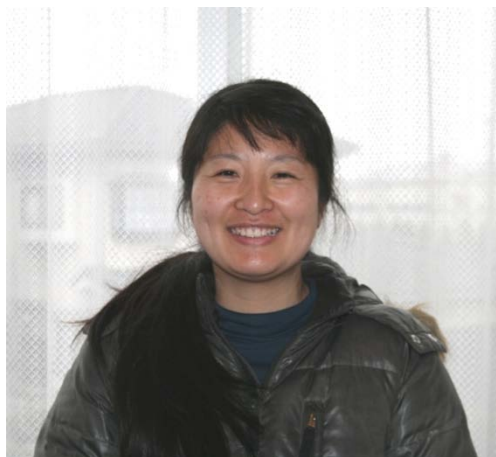
介護福祉士を目指すきっかけは、私の母親がリウマチで身体障害者のため、介護の勉強をして親孝行をしたいと考えたからです。



仕事を退職するときには、とても勇気が必要でした。今更、介護の仕事を一から勉強して生活が出来るのだろうか。結婚をした場合には、妻を養うことが出来るのだろうか。真剣に考えました。

でも、自分自身の人生だからやらないで後悔するより自分のポリシー持ち夢を実現し、そして前向きに進んでいくことが自分の人生だと考え決断しました。

学校生活は想像していた以上に充実しておりあの時思い切って進学してよかったと思っています。先生も学生の皆さんもとてもいい人ばかりで楽しく生活を送っています。



## 中村 二三恵 さん 平成24年4月入学

<社会人経験>20年 <職歴>ウェイトレス・スーパーのレジ等  
現在子育て中

私が、介護福祉士になろうと思ったのは単純に頭より体力に自信があり、人と接する仕事がしたかったからです。

職業訓練所からいくつかの専門学校を紹介されましたが、私が「ここだ」と決めたのは、アットホームな感じの学校で、先生も話し方や対応がとても丁寧で、話や質問をしていくうちに、こんな人になりたい、この人に教わりたいと思うようになり、ここならば、自分に自信が持て、形だけでなく内面からしっかりした介護福祉士になれる気がしたからです。

今、若い学生さんの中で毎日勉強しています。出来ないことや分からないことがあると出来る人たちに教わりながら、なんとか頑張っています。7月の実習では自分のコミュニケーション力や文章力の無さを改めて教えられ悔しかったです。これからの目標として、今できる事に一生懸命に取り組む1月からの実習が充実したものになるようにしたいと思います。そして、1年後には介護福祉士になり胸を張って卒業したいと思います。

## 三沢 亮平 さん 平成24年4月入学

<学歴>立正大学 卒業

「介護福祉士」、私には大学に入学するまで、身近な言葉ではありませんでした。

福祉とは全く違う学部に入りましたが、学生生活の中で福祉に関わる学部にいた先輩・仲間・後輩やOBで福祉関連の施設で働いている人たちに出会い、様々な話を聞いているうちに興味が湧いてきました。そして、母親が老人ホームでパートとして働きだし、現場の生の話を聞き、自分が将来関わる職業の中に福祉現場への希望がはっきり見え、その一員になりたいと強く思いました。

将来、福祉社会の中で働くために、現在関東福祉専門学校で「福祉を知る」ために学んでいます。専門的基礎知識や現場実習など介護に必要な知識や、介護福祉士としての倫理性・社会性や人間力を身に付けつるために、クラスの色々な年齢層からなるアットホームな雰囲気と、先生たちの丁寧な奥の深い講義など、良い環境での学校生活の中で、希望から実現に向かって充実した毎日を過ごしています。

